

目指すのは【地方企業の DX 強化】と【町内外の人とのつながり】 10月10日「こもガク祭 2021」開催



「こもガク祭 2021」とは

こもガク実行委委員会は、10月10日「こもガク祭 2021」を開催します。

人口が微増していくこの町で希薄になりがちな町民同士の繋がりや、地方の中小企業が DX 時代に乗り遅れないための取組みを、このイベントを通してこもガクがサポートすることで個々が強くなり、発信力を高めていくことを目的とします。そして感度の高い若者や、子育て世代の若い家族がこものに関心を持つことで関係人口の増加につなげていきます。

＝ミッションは「地方企業の DX 強化」と「町内外の人のつながり」＝

ミッションその1「一次情報の発信」

町の人が我が町の事を理解し、体感することで得た情報を外に発信することでこもの魅力を内外に伝える。

- 「こもガク塾」を開催します→町内の至る所でワークショップや教室が開かれる、体験型の学びの場。
- 「こもガク伝売市」を開催します→三重県内で活躍する事業者に、自社商品の魅力を伝えて売る市場。

大切なことは「一次情報」の発信



ミッションその2「地方企業の DX 強化」

R2 総務省が各地方自治体に提示した DX 推進計画。コロナ禍の中、急速に DX への取組みが進められてるものの全国 900 社の企業調査で「DX を推進している」という企業は 1/3 に留まっており中小企業の多い地方においてはさらに下回るという現状があります。（出所：日経 BP 総合研究所イノベーション ICT ラボ「DX サーベイ」）

＝こもガクは製造業、観光業、小売業、農家など民間の中小企業事業者の有志で構成・運営している団体です＝

- 「オンラインこもガク塾」「オンラインオープンファクトリー」を開催します
→オンラインに取り組んだことのない事業者をサポートし、各社の魅力をオンラインでも発信。



■開催後の変化

◇**参加事業者の意識の変化**:異業種の事業者同士の交流が盛んになり、コラボ商品の開発やコラボイベント情報の交換なども行われるように。2020年のオンライン開催をきっかけに初めてオンラインに取り組んだ事業者も積極的に自社の事業に取り組みはじめている→**オンラインワークショップを定期的に開催**

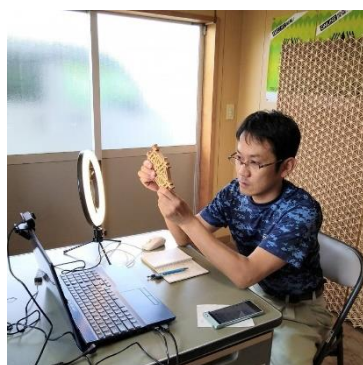
～指勘建具工芸の事例～

昔ながらの職人が手探りではじめた伝統工芸のオンライン配信

コロナ禍の2020年開催の「こもガク祭」は完全オンライン配信で開催。指勘建具工芸は、伝統工芸である組子技術の衰退を危惧し工場のオープンファクトリーと、ワークショップをオンラインで配信。初めての取組みに機材の選定からリハーサルまで、実行委員がサポートに入り成功をおさめる。これを機に、数カ月毎に同様のオンライン配信を開始。同時にWEBの整備やオンラインショップの開設、SNSの発信をはじめ、メディア露出の機会も増えたことで年齢、地域に問わず幅広い層の方に関心がひろがっている。



「オンラインこもガク2020」の様子



組子キットを事前に参加者に送付して zoom でワークショップ



毎月第三土曜日にリアル工場見学とワークショップを開催

「指勘建具工芸」とは・・・

菰野町で三代続く建具屋。伝統工芸でもあるその組子の技術は国内外で高く評価されており、3代目の職人黒田は内閣総理大臣賞を受賞、2016年開催の「伊勢志摩サミット」では組子細工を施した文箱が海外の要人への贈答品としても選ばれている。

◇**こものへの感心の高まり**:2017年7000人→2019年10,000人参加来場（2020年オンライン開催）
発信をすることで周囲の感心も高まりリクルートの役割も担うように
→こもガクで知った企業に就職事例

■こもガク祭の成り立ちとこれから

～三重郡菰野町のイマ～

三重県の御在所岳の麓にある菰野町。農・工・商・観が息づくこの町の人口の増加が進み
現在人口が4万人を超え、マチは新旧の町民の中で少しずつ変化をしていこうとしています。

H23:41,025人→R2:41,610人（出所：菰野町公式WEB）

その局面を前にまず我々自身が”**イマのこもの**”を知りたいと思うようになりました。

～イマのこものを知る人を増やしたい。もつとこものに関わる人を増やしたい～

町民ひとりひとりが主体的に町に関わり、共にこもの未来を考えていきたい。

そんな思いで2017年、製造業、観光業、小売業、農家などの民間事業者達の有志の声掛けで

「こもガク実行委員会」が立ち上がり、2017年**こものを学んでこものを知る**きっかけの場として

「第一回こもガク祭」が開催され、2021年の今年で6回目の開催となります。

～今後の展開～

3年後～菰野町の魅力を菰野町の人を知る→その魅力を伝えられる人が増える

5年後～域外の人定期的に菰野町を訪れるようになる→新しい若者がまちに入り込む

8年後～新しい生業が生まれ、活気が生まれる

→菰野町を出ていった人が主体的にまちに関わるようになる。

日常的にこもガク塾が町中で開催されているまちにする。

こもガク祭2021開催要項

開催日：2021年10月10日(日)

会場：菰野町内各地

メイン会場/アクアイグニス第2駐車場

三重県三重郡菰野町菰野4800-1

■こもガク塾：菰野町内各地

菰野町にはどんなことがあるのかを知ってもらう体験型の学びの場。

リアルとオンライン開催、併用開催の塾があります。

■伝売市：10:00～15:00 メイン会場

県内で活躍する飲食店や雑貨店を中心に、我が店自慢のモノの魅力を伝えて
売る市場。見て、聞いて、触れて、農商工観をまるっと体験できます。

後援：菰野町/三重県 協力：菰野町商工会

「こもガク祭 2021」公式WEB <https://komogaku.jp>

本件に関するお問い合わせ先

こもガク祭実行委員会事務局(菰野町商工会)

担当者名：水間

TEL:059-393-1050

Email:komono.syoko@gmail.com

【取材についてのお問合せ先】

(株)菰野デザイン研究所

広報担当：矢田

TEL:090-8676-7216

yada@komono-design-labo.jp

